

# 世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の各構成資産の位置等について

資料 3

野崎島の集落跡

8

【凡例】



西海市江島の中心付近からの距離  
(10km、20km、30km)

ひらどし  
平戸市

おぢかちよう  
小値賀町

させぼし  
佐世保市

頭ヶ島の集落

9

黒島の集落

7

奈留島の江上集落  
(江上天主堂とその周辺)

11

久賀島の集落

10

しにかみごとうちよう  
新上五島町

外海の大野集落

6

ながさきし  
長崎市

ごとうし  
五島市

長崎県

5

外海の出津集落

## 【各構成資産との位置関係】

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産のうち、西海市江島周辺に点在する構成資産は、左図のとおりであり、以下の構成資産から比較的視認されやすいと想定される。

- ・頭ヶ島の集落 20km以内
- ・黒島の集落 30km以内
- ・野崎島の集落跡 30km以内

なお、以下の構成資産については、距離が30kmを超えるものの、西海市江島と構成資産の間を遮る山等が無く、視認は可能な状況にある。

- ・外海の出津集落 30km超
- ・外海の大野集落 30km超

## 【参考】

- ・世界文化遺産への影響については、各構成資産からの風車の視認性を踏まえ検討する必要がある。